



柿
安

2023年4月期 決算説明会資料

2023年6月19日
株式会社 柿安本店

1. 2023年4月期 連結業績



(単位：百万円)

〔第4四半期累計期間〕

(参考：14ヵ月比較)

	2023年4月期 第4四半期 実績	(対売上比)	前年 差異	前年比 増減	2022年 4月14日 開示差異 (12ヵ月予想)	2022年 4月14日 開示増減 (12ヵ月予想)	2023年 4月期実績	2022年 7月12日 開示予想 差異	2022年 7月12日 開示予想 増減
売上高	37,898	-	△100	△0.3%	+698	+1.9%	43,910	+810	+1.9%
(売上原価)	17,721	46.8%	△527	△2.9%	-	-	20,442	-	-
(販管費)	17,133	45.2%	+160	+0.9%	-	-	19,958	-	-
営業利益	3,044	8.0%	+266	+9.6%	+44	+1.5%	3,509	+9	+0.3%
経常利益	3,101	8.2%	△186	△5.7%	+101	+3.4%	3,566	+66	+1.9%
親会社株主に 帰属する当期 (四半期)純利益	1,885	5.0%	+181	+10.6%	+35	+1.9%	2,205	+105	+5.0%

過去最高

(実質)
過去最高

過去最高

(※2022年2月期との比較)

※ 2023年4月期より決算日を2月末日から4月30日としております。決算期変更の経過期間となる当期は2022年3月1日から2023年4月30日までの14ヵ月の変則決算となるため、2023年4月期実績の前期対比は記載しておりません。

※ 本資料は、パーセンテージは小数点第2位四捨五入、金額は単位未満切り捨てで表示しております。

◆ 四半期業績推移



(単位：百万円)

	2023年 4月期 第1四半期 会計期間		2023年 4月期 第2四半期 会計期間		2023年 4月期 第3四半期 会計期間		2023年 4月期 第4四半期 会計期間		2023年 4月期 第4四半期 累計期間	
		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異		前年比 /差異
精肉	3,494		3,564		3,519		4,553		15,131	
惣菜	3,096		3,024		3,020		3,617		12,758	
和菓子	1,815		1,286		1,456		1,907		6,466	
レストラン	382		387		387		411		1,568	
食品	257		563		513		639		1,974	
売上高	9,045	99.7%	8,826	98.6%	8,896	98.4%	11,130	101.8%	37,898	99.7%
精肉	332		287		313		607		1,540	
惣菜	364		232		220		508		1,325	
和菓子	370		11		73		303		758	
レストラン	11		△7		△2		19		20	
食品	13		78		121		52		265	
(調整額)	△232		△216		△206		△211		△866	
営業利益	859	+308	385	+6	519	△112	1,279	+64	3,044	+266
経常利益	893	+295	392	△160	530	△316	1,285	△4	3,101	△186

◆ 2023年4月期 第4四半期累計期間 セグメント概要



〔第4四半期累計期間〕

(単位:百万円)

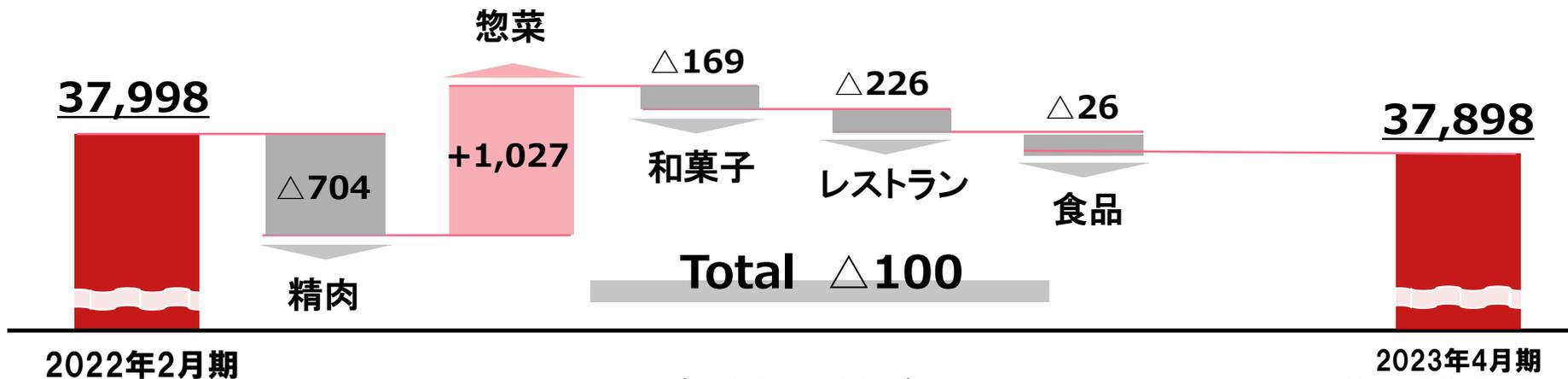
	売上高				セグメント利益又は損失(△)			
	2023年 4月期 第4四半期 累計期間	2022年 2月期	前年比 (%)	前年 差異	2023年 4月期 第4四半期 累計期間	2022年 2月期	前年比 (%)	前年 差異
精肉事業	15,131	15,836	95.5	△704	1,540	1,653	93.1	△113
惣菜事業	12,758	11,730	108.8	+1,027	1,325	1,243	106.6	+81
和菓子事業	6,466	6,635	97.4	△169	758	706	107.4	+52
レストラン事業	1,568	1,794	87.4	△226	20	△225	—	+246
食品事業	1,974	2,000	98.7	△26	265	320	82.8	△55
(調整額)	—	—	—	—	△866	△921	—	+55
合計	37,898	37,998	99.7	△100	3,044	2,777	109.6	+266

◆ 2023年4月期 第4四半期累計期間
セグメント別売上高・利益増減

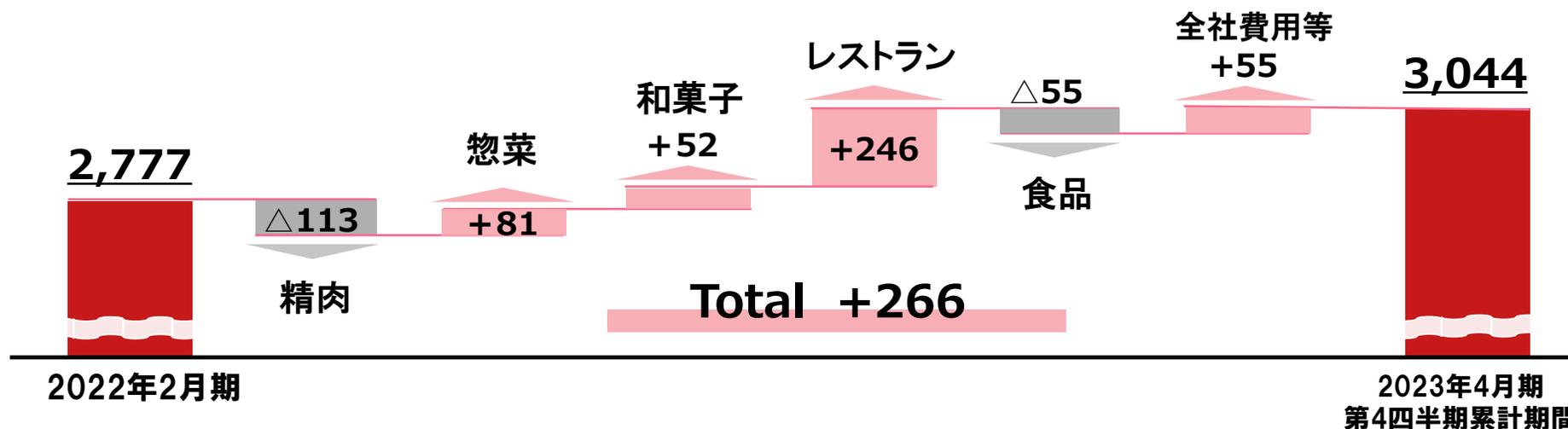


〔 売上高 〕

(単位：百万円)



〔 利益 〕



2. 2024年4月期 業績予想



(単位：百万円)

	2024年 4月期予想	(対売上比)
売上高	38,700	-
(売上原価)	18,150	46.9%
(販管費)	17,500	45.2%
営業利益	3,050	7.9%
経常利益	3,050	7.9%
当期純利益	1,900	4.9%

※ 2023年4月期は14ヵ月の変則決算となるため、2024年4月期予想の前期対比は記載していません。

◆ 出退店の状況



	出店 実績	退店 実績	2023年4月 期末店舗数	出店 計画	退店 計画	2024年4月 期末店舗数
精肉事業	1	1	40	1	—	41
惣菜事業	3	1	91	2	—	93
和菓子事業	5	4	176	10	2	184
レストラン事業	—	3	19	—	—	19
食品事業	—	—	9	—	—	9
合計	9	9	335	13	2	346

3. 2024年4月期以降の取り組み



(1) 基本方針

【価値経営】 の実現



専門性を深掘し

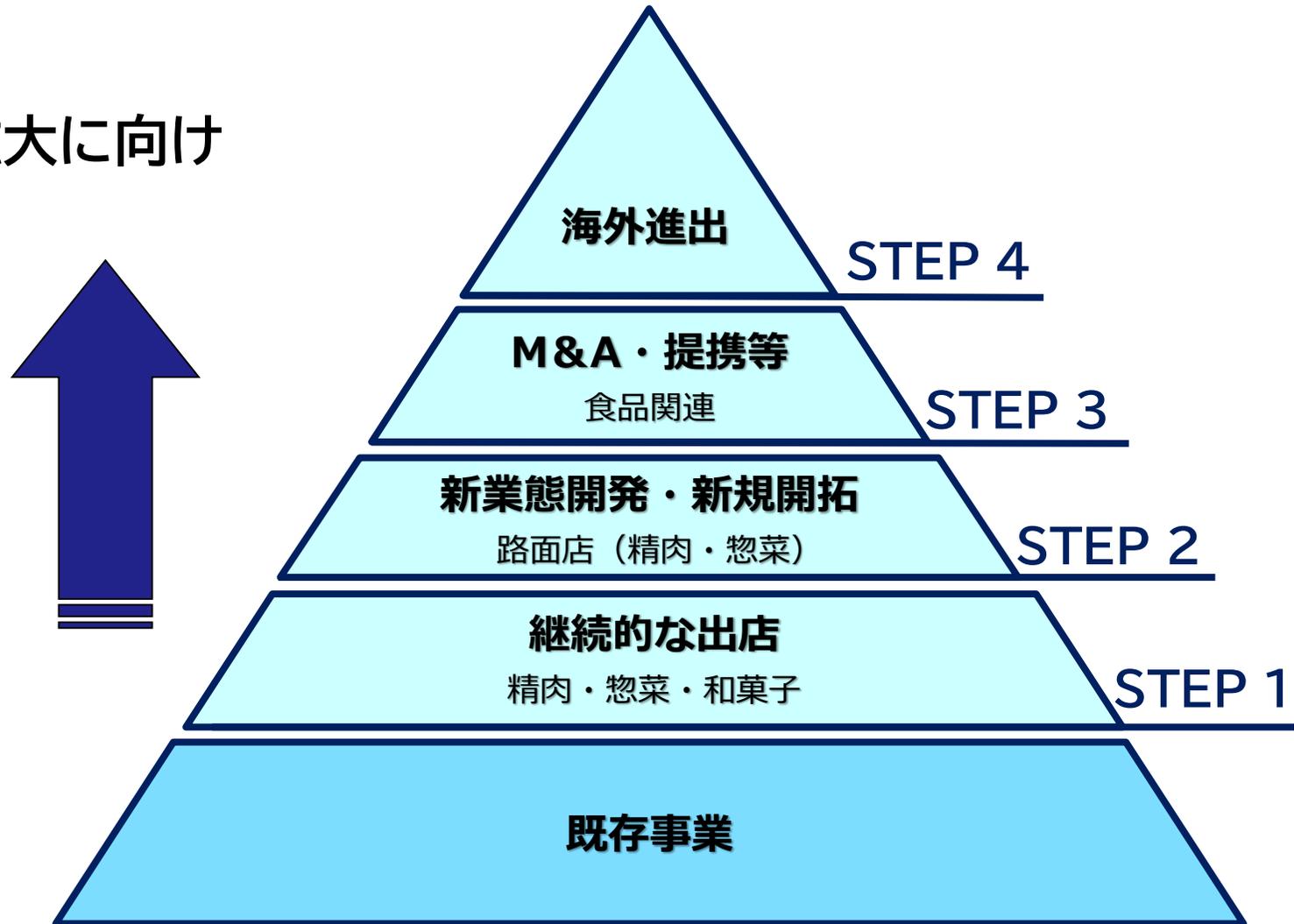
商品・接客サービスの圧倒的な差別化を図る。

3. 2024年4月期以降の取り組み



(2) 成長戦略

更なる事業拡大に向け
挑戦し続ける



3. 2024年4月期以降の取り組み



(3) 投資及び株主還元

重点課題	取り組み内容
設備投資	<ul style="list-style-type: none">・ 新規出店（年間15店舗以上目標）・ 店舗、工場等のリニューアル・ IT/DX化
成長投資	<ul style="list-style-type: none">・ M&A、提携 等・ 人財開発強化
株主還元	<ul style="list-style-type: none">・ 安定的、継続的な配当・ 総還元性向を意識した株主還元・ 株主優待制度の再開及び充実

3. 2024年4月期以降の取り組み



(4) 経営基盤の強化

重点課題	取り組み内容
組織機能の強化	<ul style="list-style-type: none">・ 専門性/多様性人財の採用強化、育成・ 働きがい、働きやすさの充実
生産性向上	<ul style="list-style-type: none">・ 基幹システム/工場システム刷新・ DX化による、更なる構造改革

3. 2024年4月期以降の取り組み



(5)サステナビリティへの取り組み

重点課題	取り組み内容
環境対策	<ul style="list-style-type: none">・ 食品ロスの低減・ プラスチック使用量の削減(エコ素材容器利用等)・ 温室効果ガスの低減
ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none">・ 女性管理職比率向上・ 障がい者雇用率向上
地域貢献	<ul style="list-style-type: none">・ 地域コミュニティの活性化支援・ 地産地消の推進

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。